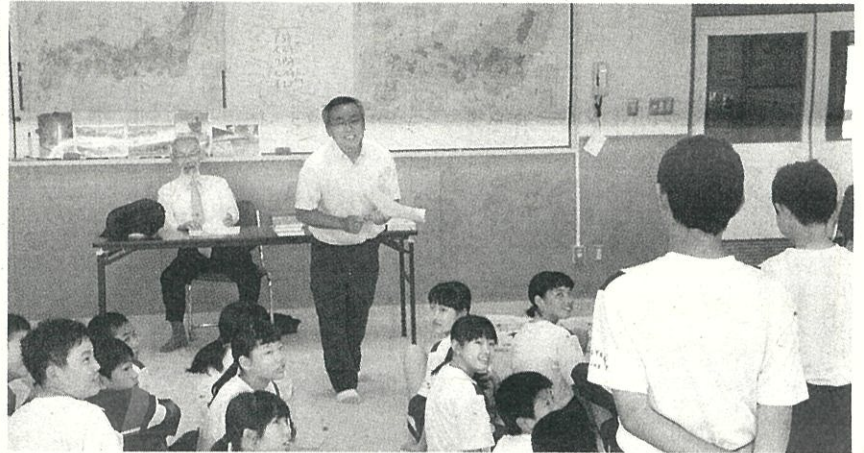


# 赤水の業績、人間像知って

## 高萩中 顕彰会が「子ども教室」



高萩市出身の学者で、日本で初めて経緯線のある全国地図を完成させた長久保

赤水（1717～1801年）の業績や人間像を地元の子どもたちに知ってもらうと、特別授業「赤水・子ども教室」が25日、同

市高萩の市立秋山中学校（岡部晃美校長）で行われた。赤水顕彰会顧問の長久保源蔵さん（88）と理事の石孝弘さん（65）が講師を務めた。

同会が子ども向けに赤水についての授業を行うのは初めての試み。同校の1年

長久保赤水について中学生が学んだ特別授業＝高萩市高萩

生49人が話を聞いた。

赤水について長年研究を重ね、複数の著作もある源蔵さんは、赤水が幼い頃に両親や弟を亡くしたことや、14歳で塾に通い始め勉学にいそしんだことなどを解説した。

石さんは「赤水が日本地図を作り始めたのは35歳ごろだが、何年かかって完成させたでしょうか」とクイズ形式で生徒たちに考えさせるなどして、赤水の業績を紹介した。

源蔵さんは「赤水は皆さんのように優秀な頭を持ち、そしてすごい努力家・読書家だった。皆さんも本を読んで勉強してほしい」と生徒たちに語り掛けた。

富田美咲さん（12）は「赤水の地図は内陸が詳しく書いてあることが分かった」、金子紗也さん（12）は「赤水を見習って勉強を頑張りたい」とそれぞれ話していた。

クロスアイ  
HPに動画